

開催日時 令和7年2月10日(月) 15時00分～16時30分

開催場所 野崎高等学校 校長室

出席者《委員》

中嶋 正人 大阪産業大学 入試センター次長
山崎 政範 大阪教育大学 附属学校統括機構特別参与 学長補佐
尾崎 明幸 大東市文化財保護審議会委員
梅本 正直 大東市人権教育指導員 社会教育主事
野村 洋二郎 本校PTA 会長

出席者《事務局》

田中校長 勝村教頭 西田教頭 高須事務長 宮脇首席

議事録作成：岩藤講師

【協議資料】

資料1 大阪府立野崎高等学校 学校運営協議会 実施要項
資料2 令和6年度 大阪府立野崎高等学校 学校運営協議会委員名簿
資料3 授業評価アンケートの結果について
資料4 令和6年度 学校教育自己診断
資料5 令和6年度 学校経営計画及び学校評価
資料6 令和7年度 学校経営計画及び学校評価

次第（議題）

1. 開会（資料1）
 - ・会長挨拶
 - ・校長挨拶
 - ・出席者紹介（資料2）
2. 第2回授業アンケートの結果と傾向について（資料3）
3. 学校教育自己診断について（資料4）
4. 令和6年度学校評価について（資料5）
5. 令和7年度学校経営計画について（資料6）
6. その他
7. 協議
8. 閉会

議事録概要

1. 開会（資料1）

- 会長挨拶
- 校長挨拶
- 出席者紹介（資料2）

2. 第2回授業アンケートの結果と傾向について（資料3）

【校長より】

- ・今回突出したよい結果がでている。引き続き一人ひとりを大切にして、この結果を維持していくことをめざしたい。

3. 学校教育自己診断について（資料4）

【校長より】

- ・生徒、保護者からの肯定的な回答の割合が、近年では最も高い項目が多数あった。下がっている項目については、保護者からの『こどもは、「授業にまじめに取り組んでいる」と話している。』や『こどもは、マナーや校訓を守っている。』というもので、保護者からのもっとできるという期待の現れであると感じている。

4. 令和6年度学校評価について（資料5）

【校長より】

- ・1（1）ア 生徒授業アンケートより、教員の授業力の向上の結果として現れている。
- ・2（4）ア 生徒会役員を中心とした生徒の主体的な取り組みが満足度の上昇に現れている。
- ・1（2）イ 生徒が減っているが、大学も含めた多彩な進路を提示していきたい。

5. 令和7年度学校経営計画について（資料6）

【事務局より】

めざす学校像

- ・方向性は変わらないが、めざす学校像に「一人ひとりを大切にした」を明記した。

中長期的目標

- ・1（1）ア 安心できる環境を作ることで学ぼうとする力を育成していきたい。
- ・2（2） 教職員の率先垂範の文言を追加し、教職員の積極性と熱意を上げていきたい。
- ・放課後の居場所にココアル等もあり、部活動に限らないため、部活動加入率の目標は削除する。

6. その他

7. 協議

【委員より】

- ・最近の教育はタブレットを用いるなど、先生の出番が少なくなっているように思う。その影響からか、人との会話が苦手になっている生徒が多い。その中で、相談できる先生がいるということは生徒の居場所づくりにもつながり、野崎高校のアピールポイントになるのではないか。
- ・学校の取り組みと家庭教育の連携が大切。親の立場としても学校とともに子どもを社会に送り出していければと願っている。
- ・コロナの影響もあると思うが学校が閉鎖的になっていると感じる。地域の人や保護者と学校がつながる機会を増やしてみてもどうか。
- ・本日野崎高校の授業を見学したがとてもよい雰囲気であった。生徒募集では苦戦しているが明るい兆しを感じた。
- ・行事や授業見学などをオープンにして地域の人や保護者と生徒がつながっていくことが、生きる力の育成や学校自体の魅力にもつながるのではないか。

8. 閉会

○校長挨拶

以上